

医療用医薬品最新品質情報集（ブルーブック）

2021.03.19 初版

有効成分	ラベタロール塩酸塩	
品目名（製造販売業者） 【後発医薬品】	1	ラベタロール塩酸塩錠 50mg 「トーワ」 東和薬品
	2	ラベタロール塩酸塩錠 100mg 「トーワ」 東和薬品
品目名（製造販売業者） 【先発医薬品】	①	トランデート錠 50mg アスペンジャパン
	②	トランデート錠 100mg アスペンジャパン
効能・効果	<a href="http://www.bbdb.jp">http://www.bbdb.jp</a>	
用法・用量	<a href="http://www.bbdb.jp">http://www.bbdb.jp</a>	
添加物	<a href="http://www.bbdb.jp">http://www.bbdb.jp</a>	
解離定数 <sup>1)</sup>	pKa : 7.57	
溶解度 <sup>1)</sup>	pH1.2 : 6.6mg/mL pH4.0 : 18.1mg/mL pH6.8 : 12.2mg/mL 水 : 17.9mg/mL	
原薬の安定性 <sup>1)</sup>	水	なし
	液性(pH)	室内散乱光下に7日間保存したpH12.6試験液において3日間経過後から分解物が検出された。
	光	なし
	その他	なし
膜透過性	なし	
BCS・Biowaiver option	なし	
薬効分類	214 血圧降下剤	
規格単位	50mg 1錠 100mg 1錠	

【記載データ一覧】

	品目名	製造販売業者	BE	品質 再評価	溶出	検査
1	ラベタロール塩酸塩錠50mg「トーワ」	東和薬品	○	○*		○
2	ラベタロール塩酸塩錠100mg「トーワ」	東和薬品	○	○*		○

注)「BE」は、生物学的同等性(BE)試験結果を示し、○印がついているものは本情報集にデータを掲載している。【3ページ】

注)「品質再評価」の項目に○印がついているものは、品質再評価結果通知<sup>2)</sup>が発出されている品目である。空欄となっているものは、品質再評価指定以降に承認された品目等である。なお、参考として、品質再評価の際の先発医薬品の溶出曲線測定例を本情報集に掲載している。【4ページ】

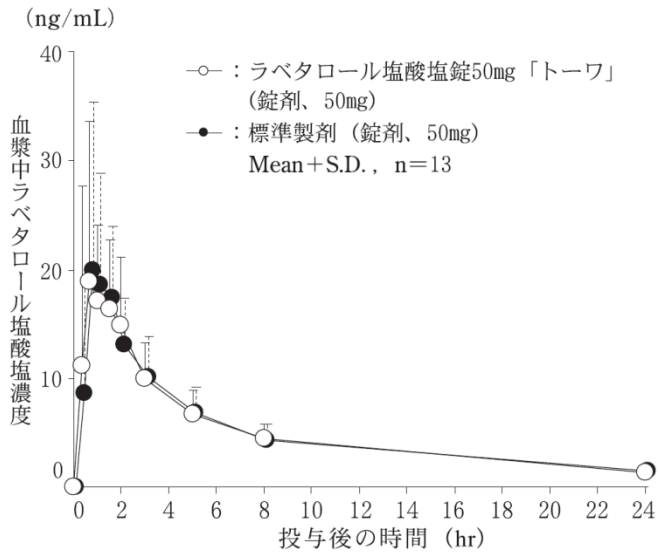
注)「溶出」は、ジェネリック医薬品品質情報検討会での溶出試験結果を示し、上記表中に番号の記載があるものは、試験を実施した品目である(上記表中の番号は、本情報集に掲載された溶出試験結果中の番号と対応している)。全品目で空欄となっている場合は、溶出試験未実施である。一部が空欄となっている場合は、当該試験実施以降に承認された品目等である。【5ページ】

注)「検査」は、後発医薬品品質確保対策事業検査結果を示し、上記表中に○印がついているものは検査を実施した品目である。全品目で空欄となっている場合は、検査未実施である。一部が空欄となっている場合は、当該検査実施以降に承認された品目等である。【6ページ】

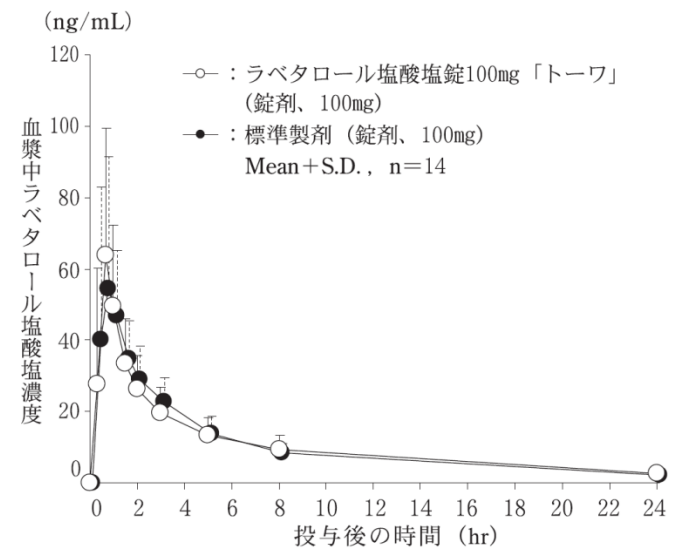
\*: 旧販売名で記載

【生物学的同等性 (BE) 試験結果】

1



2



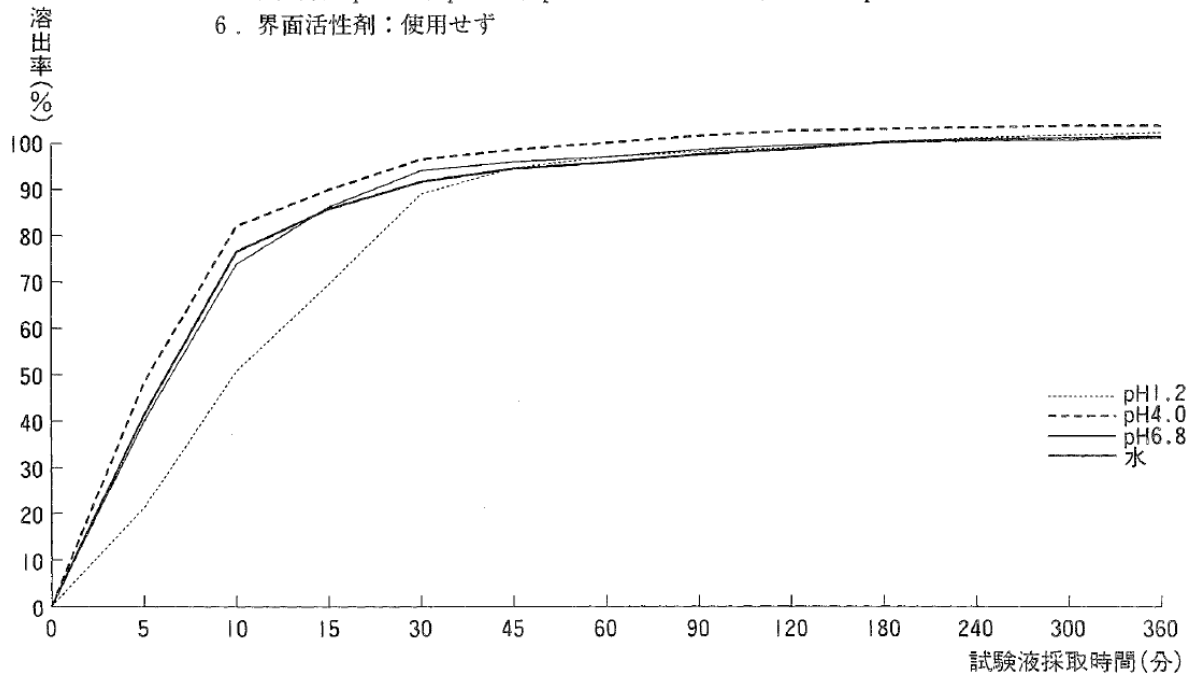
【品質再評価（医療用医薬品品質情報（オレンジブック））】<sup>1)</sup>

※先発医薬品の溶出曲線測定例を示す。

溶出曲線測定例

塩酸ラベタロール錠 50mg

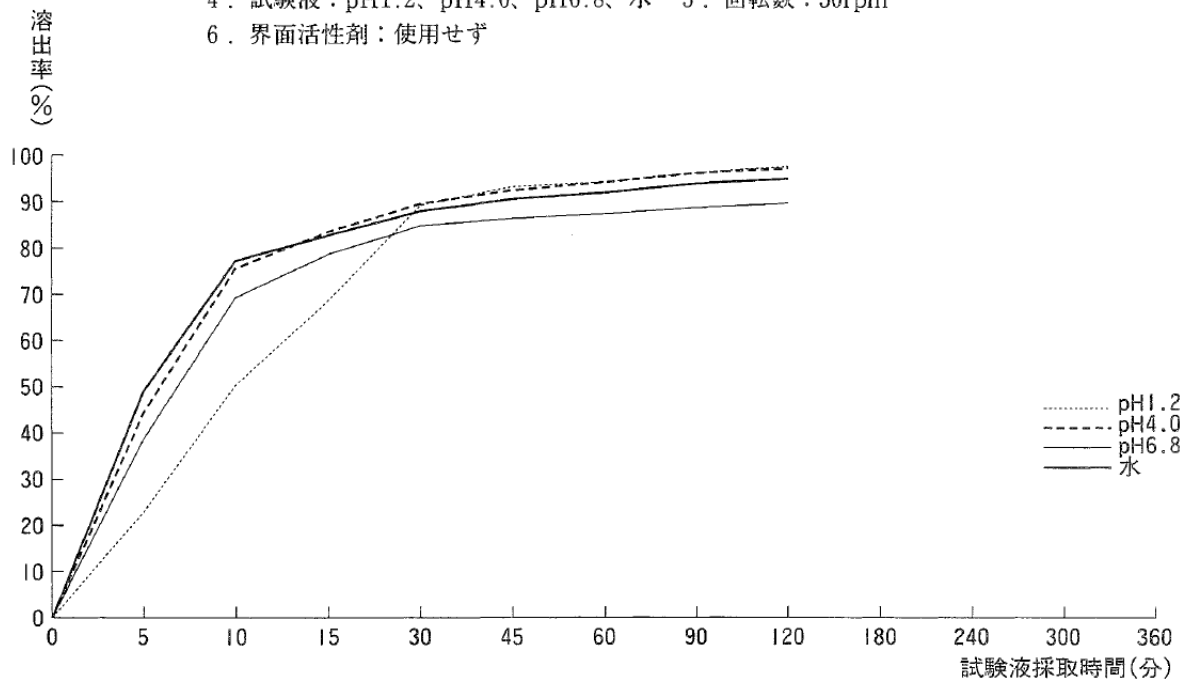
1. 有効成分名：塩酸ラベタロール
2. 剤形：錠剤
3. 含量：50mg
4. 試験液：pH1.2、pH4.0、pH6.8、水
5. 回転数：50rpm
6. 界面活性剤：使用せず



溶出曲線測定例

塩酸ラベタロール錠 100mg

1. 有効成分名：塩酸ラベタロール
2. 剤形：錠剤
3. 含量：100mg
4. 試験液：pH1.2、pH4.0、pH6.8、水
5. 回転数：50rpm
6. 界面活性剤：使用せず



【溶出試験結果（ジェネリック医薬品品質情報検討会）】

なし

【後発医薬品品質確保対策事業検査結果】<sup>3)</sup>

平成 28 年度（溶出試験） 適
------------------

ラベタロール塩酸塩錠  
Labetalol Hydrochloride Tablets  
塩酸ラベタロール錠

**溶出性**〈6.10〉 試験液に水 900mL を用い、パドル法により、毎分 50 回転で試験を行うとき、本品の 30 分間の溶出率は 75%以上である。

本品 1 個をとり、試験を開始し、規定された時間に溶出液 20mL 以上をとり、孔径 0.8 $\mu$ m 以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 10mL を除き、次のろ液 1mL を正確に量り、1mL 中にラベタロール塩酸塩 ( $C_{19}H_{24}N_2O_3 \cdot HCl$ ) 約 50 $\mu$ g を含む液となるように水を加えて正確に  $V'$  mL とし、試料溶液とする。別に定量用ラベタロール塩酸塩を 105 $^{\circ}$ C で 3 時間乾燥し、その約 50mg を精密に量り、水に溶かし、正確に 100mL とする。この液 10mL を正確に量り、水を加えて正確に 100mL とし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液につき、紫外可視吸光度測定法〈2.24〉により試験を行い、波長 302nm における吸光度  $A_t$  及び  $A_s$  を測定する。

ラベタロール塩酸塩 ( $C_{19}H_{24}N_2O_3 \cdot HCl$ ) の表示量に対する溶出率 (%)  
 $= M_s \times A_t / A_s \times V' / V \times 1 / C \times 90$

$M_s$  : 定量用ラベタロール塩酸塩の秤取量 (mg)

$C$  : 1 錠中のラベタロール塩酸塩 ( $C_{19}H_{24}N_2O_3 \cdot HCl$ ) の表示量 (mg)

【関連情報】

なし

【引用情報】

- 1) 医療用医薬品品質情報集（オレンジブック）（平成 12 年 6 月版、厚生省医薬安全局審査管理課）
- 2) 医療用医薬品再評価結果 平 12 年度（その 1）について（平成 12 年 5 月 11 日付け医薬発第 490 号、厚生省医薬安全局長）
- 3) 平成 28 年度「後発医薬品品質確保対策事業」検査結果報告書（平成 30 年 6 月、厚生労働省医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課）
- 4) 第十七改正日本薬局方（平成 28 年 3 月 7 日厚生労働省告示第 64 号）